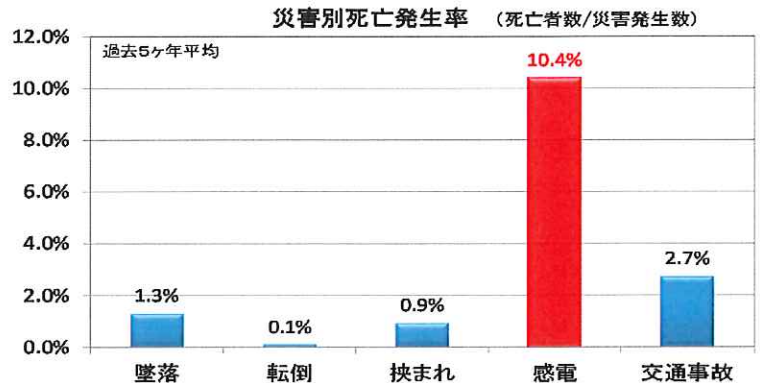
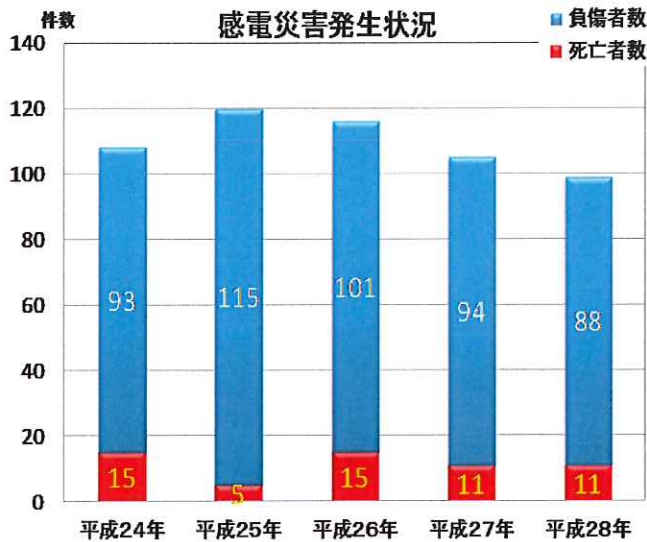


自家用電気工作物オーナー・管理者の皆様へ 感電事故を防ぐのは「あなた」です

電気設備の工事や点検・調査のほか、建物改修や外壁塗装作業の際に作業者が高圧電気機器や高圧電線に接触するなどの感電事故が毎年発生しています。

オーナー・管理者の皆様は電気主任技術者等と協力し、感電事故防止に努めてください。



《注目》
感電災害は他の災害に比べ
死亡の割合が、非常に高くなっています。

出典: 労働災害発生状況(厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課)

感電事故を無くすためには

- ・電気工事等を計画する際は、**事前に電気主任技術者等**へご相談ください。
- ・電気室やキュービクル等は必ず施錠し、**鍵をむやみに貸し出さない**ようにしてください。
- ・外壁工事や塗装工事等で電柱や電線などが近接する場合は、**事前に電気主任技術者等**へご相談ください。

事故が起きてから

「あの時しっかり見ていれば・やっていたら」では遅すぎます。
分からない事や不安な事は、**電気のプロ「電気主任技術者等」**へご相談ください。

経済産業省 関東東北産業保安監督部
一般財団法人 関東電気保安協会
一般社団法人 日本電機工業会
一般社団法人 日本配電制御システム工業会

公益社団法人 東京電気管理技術者協会
公益社団法人 全関東電気工事協会
東京電力パワーグリッド株式会社
電気安全関東委員会

過去の事故事例

事例1 (思いつき、知識不足)

発生状況:被災者(総務担当者)は予定されていた会議の前に、会議で必要な変圧器の銘板を撮影するため、電気室の前で電気主任技術者を待っていた。会議の時間が迫っていたこともあり、電気主任技術者の到着を待たずに単独で電気室に入り撮影を開始した。写真撮影のため体をフェンスに乗り出した際、肩が高圧充電部に触れて感電した。

被災状況: **感電負傷**

事故原因: ○電気室に電気主任技術者の了解なしに入室した。
○簡単に撮影できると思い、設備の危険性を知らないまま、単独で撮影しようとした。



事例2 (知識不足)

発生状況:被災者(家電販売店員)は、キュービクル(高圧受電設備)の換気扇取替工事の依頼を受けていた。キュービクルの鍵をオーナーから借り受け、取替位置を確認するためキュービクル内に頭を入れたところ、充電部に触れて感電した。オーナーは換気扇の取替だけなので電気主任技術者への立ち会い依頼をしていなかった。

被災状況: **感電負傷**

事故原因: ○被災者は普段から100Vの換気扇の取付を行っていたためキュービクルでも大丈夫だと思っていた。
○オーナーは被災者が換気扇の家電販売店員のため電気の知識が有ると思い、鍵の貸出しを行った。
○オーナーは簡単な工事だと思い、電気主任技術者へ連絡をしなかった。
○被災者・オーナーとも停電の必要性を認識していなかった。



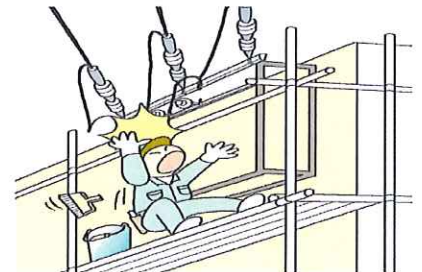
(キュービクル)

事例3 (知識不足、手抜き)

発生状況:被災者(塗装工事業者)は建物の外壁塗装の工事を請負い、作業に取り掛かった。オーナーは被災者に対し高圧引込線付近の作業は危険性がある旨を注意喚起し、被災者も認識している模様だったが被災者は作業中に誤って高圧充電部に触れて感電した。

被災状況: **感電死亡**

事故原因: ○オーナーは、電気工事ではないため、電気主任技術者に事前連絡をしていなかった。
○オーナーは、注意喚起したので、問題が無いと思い電線への防護管取付を依頼していなかった。
○高圧電気設備の危険性について認識が薄かった。



「これくらい大丈夫だろう」「ちょっとだけ・・・」という安易な気持ちから重大な事故が発生しています。

自家用電気工作物に近づいて作業をする場合は
まず電気主任技術者等へ連絡を!

